

Skill Grand Prix Japan 2026



技能グランプリ

Skill Handbook
スキルハンドブック

全競技のライブ配信や各競技の解説映像などは公式ウェブサイトからご覧いただけます



<https://WorldSkills.jp>





目次

大会概要	02
職種紹介	03
技能グランプリの競技職種と関連する技能検定	33
技能検定制度	34

競技職種の紹介

01 染色補正	03	16 機械組立て	18
02 婦人服製作	04	17 家具	19
03 紳士服製作	05	18 建具	20
04 和裁	06	19 ガラス施工	21
05 寝具	07	20 貴金属装身具	22
06 石工	08	21 印章木口彫刻	23
07 建築大工	09	22 表具	24
08 かわらぶき	10	23 園芸装飾	25
09 畳製作	11	24 ペイント仕上げ広告美術	26
10 建築配管	12	25 粘着シート仕上げ広告美術	27
11 プラスチック系床仕上げ	13	26 日本料理	28
12 カーペット系床仕上げ	14	27 フラワー装飾	29
13 壁装	15	28 レストランサービス	30
14 旋盤	16	29 タイル張り	31
15 フライス盤	17	30 造園	32



大会概要

目 的

第33回技能グランプリは、特級、一級及び単一等級技能士の一層の技能向上を図るとともに、その地位の向上と技能尊重気運の醸成に資することを目的として開催されます。

主 催

厚生労働省/中央職業能力開発協会/一般社団法人全国技能士会連合会

後 援

経済産業省/国土交通省/都道府県/大阪市/都道府県職業能力開発協会/都道府県技能士会・連合会/NHK
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構(JEED)/職業能力開発総合大学校
一般社団法人日本経済団体連合会/朝日新聞社

日 程

令和8年2月27日(金)～3月2日(月)
(一部職種については、競技を先行して実施する予定)
2月27日(金) 競技会場下見等、開会式(各職種の競技会場)
2月28日(土) 職種別競技実施
3月1日(日) 職種別競技実施、採点及び技術委員会
3月2日(月) 成績発表、閉会式(閉会式会場:グランキューブ大阪)

競 技 会 場

インテックス大阪
学校法人村川学園 大阪調理製菓専門学校
株式会社静岡鐵工所
徳島職業能力開発促進センター[ポリテクセンター徳島]

競技職種ごとの日程は
こちらからご覧ください!



Restoration of the pattern on Kimono 染色補正

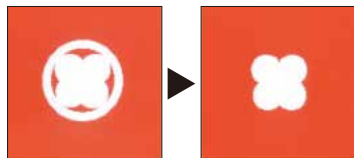
300年以上にわたる「しみぬき」の技

染色補正の起源は、約300年前と言われています。生産過程で発生する難点を吾々の先祖である調整係が手入れを施し、完成品として上納したと伝えられています。その技術は時代の変化に伴い研究開発され、現代もなお着物業界には欠かせない、「着物を直す」職業として受け継がれています。

競技概要

染色補正では、代表技術（着物のしみぬきや復元等）を集約した課題で競技が行われます。

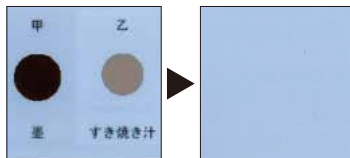
課題図1：紋様消し作業



課題図

完成図

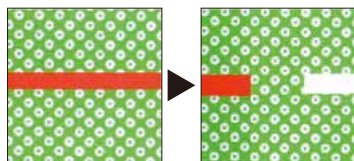
課題図2：汚れ落とし作業



課題図

完成図

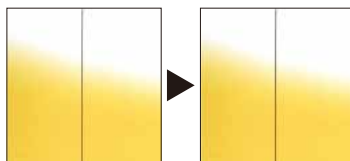
課題図3：小紋直し作業



課題図

完成図

課題図4：ぼかし合わせ作業



課題図

完成図

第32回競技課題

前回大会金メダリストからメッセージ！

〔所属：きもの遊び〕

桑山 大実さん

若い人にもどんどん参入していただいて、頑張ってほしいなと思います！



Point

染色補正に用いられる薬品や溶剤及び染料は多種多様で、汚点の種類に応じてそれぞれを使い分ける必要があります。また、調合比率や使い方によって仕上がりも大きく異なり、いかに布地を傷めず周囲と調和させるかが最大のポイントとなります。

Ladies' Dressmaking 婦人服製作

ウール地でジャケットを製作する

17世紀後半、ヨーロッパにおいて現在のような洋服の基礎が出来上がりました。日本に洋裁の技術が伝わったのは、明治維新前後のことです。婦人服の洋裁化が始まったのは鹿鳴館時代のこと、第2次大戦後、活動的な洋服の需要が高まり、洋裁技術も大きく進歩しました。

競技概要

競技課題として示されたスタイル画を基に、オーダーメイド仕立てのジャケットを製作します。



第32回競技課題



第33回競技課題

Point

各自で製図をした型紙を使い、競技は布の裁断から始めます。前ヨークから後衿へと続いた衿の立ち上がりのシルエット、デザイン線を利用したポケットと後見頃のペプラムのつながり、袖口に切り替えのある袖等、丁寧な作業と技術が必要とされ、熟練した技術を競います。

前回大会金メダリストからメッセージ!

[所属:アトリエ・PUCHI]

岡本 明子さん

自分を信じてコツコツと、しっかり練習を重ねることが大切だと思います!



Men's Dressmaking 紳士服製作

素材に合った伝統的な技法で背広を仕立て上げます

洋服が日本に伝来して約160年。一般に普及は戦後(1945年)以降です。背広型は工業化縫製で作業服化し、手作り縫製の注文洋服は高級裁縫技術品になりました。服装は固有の文化であり、着装する人の容姿や感性を熟慮して仕立てられる注文洋服は、より高く人格と、品性を表現します。

競技概要

事前に裁縫した上着の各部品(前身頃・背中・衿・袖)を組み立てて、人台に着せた時に見栄えと、手縫い技能の奥義の熟達度を競います。衿を除く各部品は手縫い又はミシン縫いで加工し、大部分は手作業で縫い合わせ、完成させます。



第32回競技課題

前回大会金メダリストからメッセージ!

[所属:NPO法人テイラーズ・ギルド]

嶋田 哲司さん

「ものづくり」は一生ものですから、若い人たちも技術を身に付けて末長く頑張っていってほしいなと思います!



Point

部品のうち、上前の前身頃の見返し合わせは本競技で製作します。衿は手作業で作製、袖を付けます。穴かがり・ステッチ(星縫い)・ポケット作りなどと、各部品の良否・立体形的美観について20項目程度を採点し評価されます。

Kimono Making 和裁

一針一針、日本の伝統の技で美を仕立てる

和裁技能を身につければ、特別な設備投資の必要もなく、自宅で独立しての仕事も可能です。最近の傾向として、成人式や卒業式などの特別な日にだけ着物を着るようですが、「浴衣」のように、普段着感覚で着ることにより、個性的なおしゃれが楽しめます。日本の伝統衣装でもある着物を、いま、あなたらしく装ってみませんか。

競技概要

競技は「女子用あわせ長着（色無地）」を縫製し、その技能を競います。一反の着物地（約12メートル）を裁断し、しるし付けまでを事前に自宅で行い、競技会場では2日間で仕立て上げます。色無地は、紋の有無や数によって、フォーマルにもおしゃれにも着られる用途の広い着物です。あわせ長着とは裏地のついた着物のことを言います。



第32回競技課題

前回大会金メダリストからメッセージ！

〔所属：（株）東亜 東亜和裁 名古屋支部〕

長谷川 彩華さん

挑戦できることがあれば、前向きに挑戦してほしいと思います！



Point

表地と裏地を合わせるところがポイントです。厚さや伸びの違う2種類の生地を微妙な釣り合いで縫い合わせなければならず、各選手の技能差が最も出る部分です。また、一針一針手縫いのため、全体の縫い目がまっすぐで、仕上がりの美しさも要求されます。コテ光り、焼けこげ、しみ等は大きな減点となります。

Japanese Duvet and Cushion Making 寝具

日本の伝統寝具の製作技術を後世に伝えるために！ 競う

我が国でもめん綿の入った「ふとん」が庶民に使われるようになったのは、江戸時代からです。明治以降、産業の発展と共に誰でもふとんで寝ることが出来るようになったのです。一日の疲れを癒やし、明日への活力を生む睡眠には欠かせない寝具を高度な技術で仕上げます。

競技概要

「掛けふとん」、「敷きふとん」、「円形座ぶとん」、「角座ぶとん」の4種類のふとんを手作業で製作します。
綿止め等の寸法は、競技当日発表されます。

前回大会金メダリストからメッセージ！

[所属：布国屋しばた]



第32回競技課題

Point

出来上がった4種類のふとんを、外観・綿の入れ方・仕上げ方など1課題について規定の採点項目で評価して得点を集計します。出来上がったそれぞれのふとんは、仕上がりの良いふとんほど機能美を感じることが出来ます。特にふとんの角は職人の腕が表れています。



柴田 洋秀さん

コツコツと手仕事で仕上げていくものもまだまだ必要ですので、若い人たちにも頑張ってもらいたいと思います！

Stonemasonry 石工

日本古来の石工の形 受け継がれる技を・・・次世代へ

古来石工は山で採石し、棺(つち)と鑿(のみ)により様々な石造物を加工してきました。現在のような機械化の時代でも原点は手仕事です。

競技概要

社寺建築で使用する沓石(くつし)／双盤(そうばん)をイメージしています。



第32回競技課題

前回大会金メダリストからメッセージ!

【所属:中島石材店】

中島 雄大さん

審査員さんはお客様です!お客様により良いものを提供できるよう練習だけでなく普段の仕事から意識して取り組みましょう。頑張ってください!



Point

石を上下に分けて、上部は丸味の切り込みと天部のホゾ穴、下部は勾配としています。上部は「小叩き仕上げ」、下部は「ビシャン仕上げ」とし、アール加工・稜線・縁取り加工で美しさの出来栄を競います。

Carpentry 建築大工

ものづくりの楽しさが実感できる感動の職種

建築大工とは現代では主に、木造建築物の墨付け・加工・建方・造作取付などに従事する大工職人のことを言います。「大工」は、古来より政府の建築技術官の最高の地位を占めるものを指し、必ずしも木工大工職人には限られていませんでした。また、優れた大工職人を一般的に棟梁と呼ぶことがありますが、棟梁はもともと建築工事組織における最高技術者であり、監督のことを指しました。

競技概要

競技では、課題図に示された「振隈木小屋組」を製作し、その技術・技能の出来栄を競います。



第32回競技課題

Point

現寸図は、全ての基本となる部分です。これを速く正確に書くことが重要です。また、木削りが素早くできること、墨付けが正確にできること、加工能力なども競技の大切なポイントです。

前回大会金メダリストからメッセージ!

[所属: 加藤建技]



加藤 恵吾さん

やればできる!
みんな頑張って
ください!

Kawara (Japanese Tile) Roofing かわらぶき

瓦1400年の歴史、現代につづく技の妙技

「粘土瓦」は、1400年の歴史のある屋根材で、“耐久性”“耐熱性”“強度”に優れ、環境にとってもやさしい屋根材です。住宅を風雨などから守る大切な屋根。その屋根の瓦を葺く技術「かわらぶき」は、普段はあまり見られる機会がありません。身近で見られる匠の技を、お見逃しなくご覧ください。

競技概要

方形架台の4面を使用する納まりで、軒瓦は2面を万十軒瓦、その他の2面は万十軒瓦と一文字軒瓦で納め、一文字軒瓦は継る（すがる-本屋根の軒先からさらに突き出ている片流の屋根）納めとしています。また、4本の隅棟（すみむね-軒先に向かって下に傾斜する棟）は、頂点で熨斗瓦、素丸瓦で留（とめ-二つの材をある角度で接合するとき、角度を折半して継ぎ目を密着させる手法）納めとしています。隅棟の短い1本は、いかに工夫して華麗に納めるかも問われます。

前回大会金メダリストからメッセージ！

〔所属：（株）土岐瓦店〕

土岐 信幸さん

若い職人さんを育てていかないと後に繋がっていかないと
思うので、色々教えて
いきたいです！



第32回競技課題

Point

袖瓦と一文字軒瓦の合端（瓦と瓦が接する面を“たがね”を使用し、隙間なく合わせる作業）の美しさ、4本の隅棟頂点の合端納めの美しさが見どころのポイントになるでしょう。



Tatami Making 畳製作

畳で生きる日本の住まい

日本で生まれた世界に誇れる床材「たたみ」。座敷で団欒から洋間で畳ライフを楽しもうといった風潮もみられます。海外で話題を集めている畳ですが、リラックスできる畳の間が、日本でも見直されるでしょう。

競技概要

まず畳の両サイドに檜(ひのき)板を入れて手縫い作業で1枚の畳を仕上げ、枠(畳台)に合わせて作った畳を中に敷き込みます。続いて、部屋の中に設けられる「床の間(とこのま)」に敷く「ござ」を製作し取り付けます。



第32回競技課題

前回大会金メダリストからメッセージ!

〔所属: 平田畳店〕

平田 享助さん

「畳」を作るのは楽しいので、一緒に頑張っていきましょう!



Point

畳を作る作業で大切なことは、きちんと寸法を測り材料を切っていくことです。この寸法が間違っていると、いくら立派な畳を作っても商品価値はなくなります。

Plumbing and Heating 建築配管

配管はライフラインをつなぐ技

安全で快適な生活を営むためには、上・下水道、給水・給湯、排水・通気、空調、冷暖房、消火などは、欠かせない設備です。「配管技能者」は、高層ビル、住宅、工場などの建物でこれらの配管工事を行い、生活のライフラインを支える重要な役割を担います。この「配管技能者」は、鋼管、塩化ビニル管、ステンレス管、銅管など様々な材料を加工、接続する知識と技能の研鑽を積んだスペシャリストと言えます。

競技概要

課題では、鋼管・塩化ビニル管・銅管を組み合わせた高度な配管技能が試されます。立体的な配管ルートをおフセットや45度接続を駆使しながら正確な寸法で仕上げます。管の「曲げ」技など卓越した技能は見どころです。



第32回競技課題

前回大会金メダリストからメッセージ!

[所属:(株)中央設備]

高岩 雅己さん

ライフラインの大切さを
知ってもらい積み上げ
た経験を活かしたものづ
くりの楽しさを伝えてい
きたいと思います。この
経験は自分のためにも
なるので頑張りたいと思
います!



Point

出来上がった作品に対して、

- ① 図面の理解力と作業手順・段取り
- ② 寸法や曲げ加工の精度
- ③ 完成作品の全体的な出来栄

のほか水漏れがないことも重要なポイントです。



Plastic Flooring プラスチック系床仕上げ

床仕上げは建物の最終仕上げ

明治維新後、建築物の洋風化とともに欧米の内装仕上げ技術が導入されました。特に官公庁、病院、大型ビル等の床仕上げにおいては、塩ビタイル、塩ビシート等の施工が主流になっていきました。床は常に人間と接触する部分なので、凹凸が無く歩きやすい施工が求められます。

競技概要

競技はプラスチック系床材であるタイルやシートを用い、平坦な部分(平場)と階段部分に割り付け、カッティング、張り付けなどを行っていくものです。文字やパイプの周りなどは、特に繊細な技能が必要とされます。



第32回競技課題

前回大会金メダリストからメッセージ!

[所属:(株)つきの]

田中 明さん

常日頃から誠実に、真面目に取り組めば必ず良い仕事ができると思うので、頑張ってもらいたいと思います!



Point

本来硬い床材が、まるで紙を切るが如くに操られていきます。より美しく、より正確に仕上げることを競い合っていきます。各材料がすきま無く、自然な形で競技架台のなかに収まり、仕上がっていく様子が見どころです。技能士のワザの出どころです。

Carpet Flooring カーペット系床仕上げ

床仕上げは建物の最終仕上げ

カーペットの起源は非常に古く、人類が狩猟生活を営んでいたころから存在していたとされています。日本における床仕上げ材としてのカーペットは当初、ホテル、裕福な邸宅など、限られたところでしか使用されませんでした。近年では、住宅はもちろん、学校、病院、店舗など、幅広い用途に供されています。

競技概要

競技はカーペットを裁断、縫製し、平坦な部分（平場）と階段部分に敷き詰めていき、綺麗に仕上げ施工する作業です。糸と針を使った縫い合わせや、テープによる接合、特殊工具を使用するグリッパー工法など、多岐にわたる施工技能が必要です。



第32回競技課題

前回大会金メダリストからメッセージ!

[所属:インテリア ユタカ 京都室内装飾技能士会]

池尻 昌穂さん

自分が今まで仕事でやってきた事を一生懸命出しきって悔いの無いように頑張らしましょう!

Point

カーペットの縫い合わせ部分や、階段などの凹凸部分を綺麗に仕上げるのが非常に難しいところです。手縫い作業は、まさに職人芸といった練達の技能が必要です。手作業による技能の要素が多く、速さと正確さ、手元の器用さなどが求められ、技能者にとってはワザの見せどころです。

Wall Decoration 壁装

「壁紙」が発信！技術を磨き、安全・安心、快適な世の中を・・・

「壁装施工作業」とは表具技法により500年来の障壁画作業を基礎として発展。近代、一般社会の要望により進められた和洋建築の合体という新しい展開から成る技術の開拓をもたらしました。伝統の技を生かしつつ新しい材質に対応する知識と新しい技術の習熟が常に要求される職種です。

競技概要

「壁装作業」課題は、A・B・C面に分かれており、織物、ビニール、紙、第三次元新素材等の壁紙の特性に合わせた施工、仕上げ面の均等性や柄合わせ、ジョイントの重要性なども含めた高度な技術が要求された結果、最も効果的な仕上がりになるよう工夫されています。

前回大会金メダリストからメッセージ！

[所属：菅原内装]

菅原 智宏さん

自分たちと一緒に
この業界を盛
り上げて頑張って
いきましょう！



第32回競技課題

Point

競技にあたっては、下地から上張りまで、施工図に従って寸分の狂いも無く張り合わせます。特に張り下地は、仕上げにおいて、出来栄を大きく左右するので細心の注意が要求されます。



Turning
旋盤「旋盤」は工作機械の原点 μm の高次元の精度と美しさを競う

精密機械の回転する部分には必ず旋盤で加工された部分があり、機械製品を作るには必要不可欠な機械です。現在の主流はコンピュータと機械が一緒になった「NC旋盤」ですが、その機械を使いこなすためには普通旋盤を使いこなす技能と技術が必要です。一品一様の高精度製品を作るためには、永遠に普通旋盤も必要であるといわれており、普通旋盤を使いこなす卓越した技能者が、近年になって再び必要になっています。

競技概要

約2ヶ月前に公開される、4つの部品で構成された競技課題製品を、各自が持参した工具や測定器と、普通旋盤を用いて競技時間以内に加工して組み立て、製品の精度を競う競技です。競技課題の加工要素は、外径削り、内径削り、テーパ削り、ねじ切り、偏芯削り、ローレット加工などがあり、普通旋盤で加工できる代表的な要素が盛り込まれています。



第32回競技課題

前回大会金メダリストからメッセージ！

[所属：(株)小松製作所 エンジン製造部]

落合 正樹さん

諦めずに目標を持って挑戦すれば必ず良い結果が付いてくると思います。自分を信じて最後まで頑張ってください！

Point

競技課題を製作する過程で、各部品は他の部品と組み合わせて1つの製品になり、組み付け形状で、 0.01mm 単位の精度を満足する必要があります。各部品の精度は図面に指示された公差だけを満足するのでは組み立て状態の寸法を満足しないため、各部品の製作過程では $1\mu\text{m}$ (マイクロンメートル)単位の寸法管理が必要です。さらに、加工、組み立て、測定、分解を繰り返す行いますので、再度組み立てたときも同じ状態になり、各部の組み立て寸法を満足しなければなりません。そのためには、組み立てたときに接触する全ての面を、最良の仕上げ面にしなければならず、寸法と時間だけでなく、仕上げ面の美しさにも気を使わなければなりません。



Milling フライス盤

回転切削工具で緻密な部品加工

工作機械や自動車、鉄道車両、船舶そして航空・宇宙産業など私たちの身近にある全ての物は、丸い形の部品と角形の部品が組み合わさってできています。その中で、主に角形の部品の基礎は、フライス盤という工作機械で作られます。そのフライス盤で、精密な部品を作り組み立てる競技がこのフライス盤職種です。

競技概要

4個の丸く黒い素材から、4個の部品をつくり、組み合わせて、美しい三角形、四角形、六角形、八角形などの製品をつくります。部品のひとつ、ひとつの内部は、アリ溝、T溝、勾配などから構成され、加工では最も難しい形になっています。



第32回競技課題

Point

4個の部品をひとつに組み合わせた2つの部品に、最大寸法公差(すきま) $15\mu\text{m}$ 以内の高精度に磨かれたピンが上面や側面から挿入されます。この時の部品間の寸法公差(ゆとり)は $30\mu\text{m}$ 以内であり、穴の位置決め精度が重要になります。さらに特定の場所の寸法を当日公表することにより、高難易度の課題となっております。この製品を競技時間以内で完成させるには、高い技術力と知恵が要求されます。

前回大会金メダリストからメッセージ!

[所属:(株)アイシン]

佐野 有祐さん

努力は必ず報われる
ので、何事も諦めず
頑張ってください!



Mechanical Device Assembly 機械組立て

0.001mmの精度で技能を競う 製品機能を満足し隙間なく滑らかに動くことがポイント

① やすりによる0.001mm精度の金属部品加工

参考: 人の髪の毛の太さは細い人で約0.07mmであり、その1/70の加工精度で部品を加工していきます

② キサゲによる0.001mm精度の摺動(しゅうどう)面仕上げ

③ ボール盤による0.1mm精度の穴あけ加工

④ タップによるねじ切り加工を満足する部品

⑤ 組立て精度0.01mmを満足する部品組付け調整と芯出し作業

※高精度な製品を短時間に製作する競技で、高度な熟達技能が求められます

競技概要

課題名『バークランパー』

ハンドルの回転によりスコッチヨーク機構を構成する部品が動作(上下・開閉)することでバー(丸棒)をクランプする装置を製作します。隙間なくバーをクランプしたときの、バーの高さと平行を±0.01mmの精度で実現します。



第33回競技課題

前回大会金メダリストからメッセージ!

[所属: パナソニック(株) エレクトリックワークス社 津工場]

舟田 勇斗さん

努力は必ず報われますので、自分に自信を持って頑張りたいです!



Point

人の髪の毛の太さは、細い人で0.07mmですが、この競技は“やすり”や“キサゲ”などの刃物を使用し0.001mm精度の部品加工をする事や0.01mm精度の部品組み付け調整を行う事がポイントとなります。また、製品完成後の美しさも評価対象となります。選手にとって、機械が正常に作動した時の感動は格別です。

Cabinetmaking 家具

家具職人たちが日本の伝統的技術に挑む

日本の家具は、床に直接座ることを生活の基本とした収納のための家具作りから始まりました。現在我が国では、椅子・テーブル・チェスト類の西洋家具と日本の伝統的な技術を取り入れた和家具に分類され、時代のニーズに合った木製製品を製作しています。

競技概要

材料は高級感のあるチェリーの無垢材を使い、課題は、天板、帆立、地板、中地板、裏板、脚部、框扉、抽斗で構成されています。天板と帆立の仕口には指物の要素を入れた「留形隠し7枚蟻組接ぎ」、帆立と中地板は「前部剣留め及び2枚ホゾ組片胴付き」、地板と帆立は「前部留及び片胴付き」で接合しています。抽斗の仕口にはそれぞれ割り振りを自由とした「包み蟻形5枚組接ぎ」、「天秤差し」を入れ、選手の腕の見せ所となっております。脚部を含めたこの課題は手加工、機械加工ともに熟練した高い技術力が必要です。



第32回競技課題

前回大会金メダリストからメッセージ！

〔所属：清水建設(株)〕

新妻 諭さん

家具製作を通じて、
ともに木工の技を
磨き、木の魅力を発
信していきましょう！



Point

本体、框扉、抽斗、脚部のうちどの部分から手掛け、どのような手順で製作するかが競技のポイントになります。また、作品の表面を平鉋で仕上げる作業は鉋掛け作業の醍醐味です。機械加工においては、機械の台数や使用制限が設けられ全選手が交代で使用するので作業工程の組み方、進め方が重要になります。

Joinery 建具



幅広く奥深い「建具の技能」

建具とは、窓・出入口・間仕切りなどに取り付ける戸・襖・障子などの総称です。建物の外部に使われるものと、内部に使われるものの2種類に分かれ、外部の建具は建物への出入口はもちろん建物を風雨から守り外観を整える役割もします。内部の建具は、室内ドアや、和室の障子や襖、クローゼットの扉など開閉したり間仕切りとして使用されたりしています。湿度調整機能をもつ木製建具は「人にやさしい」と喜ばれています。建具技能者の高度な技術と数々の道具で作り出す建具は時代に合わせ、種類やデザインも豊富になりました。

競技概要

競技時間や注意事項及び仕様、支給材料に従って課題図に示された「衝立」を製作します。

前回大会金メダリストからメッセージ!

[所属: 大槻木工所]



第32回競技課題

大槻 稔さん

すごく自分のためになるので、ぜひ、チャレンジしてみてください!



Point

「ひたむきに、そしてひたすらに。新たな木工技能の高みを目指して頂点を目指す!」

今回は競技者全員が同じ課題に取り組めます。製作難度はとても高い課題です。伝統的な製作技法が取り入れられており、加工精度のスキルが求められます。



Glass Processing ガラス施工

ガラスの精巧な切断と加工技術の『競演』

建築用板ガラスは江戸時代から使われるようになりました。現在、ガラスの使用は建築物の外壁部に使用されている窓ガラスが一般的ですが、内装材としての使用割合も近年増加しています。厚型化、大型化の傾向も強まっています。断熱性、遮音性の高い高機能ガラスも最近の「省エネルギー」の風潮と相まって注目されています。

競技概要

板ガラスとカラーガラスを用いて、戸建住宅に見立てた「家形」を制作することにより、ガラスの持っている特性（強度・装飾性等）を表現します。切断技術（曲線切断）と小口加工技術、組立装着技能を難易度の高いところにおいた課題としています。

前回大会金メダリストからメッセージ！

〔所属：森長硝子〕



第32回競技課題

森長 研光さん

プレッシャーに負けず諦めない強い心を持って頑張ってください。結果も大事ですが後悔しない事も大事だと思うので、悔いの無いようにやり切る事が大切です！



Point

課題に対する取組みの姿勢、段取り、作業手順を基礎にして、切断精度、加工精度、シーリング精度等を厳守した課題を作成。完成品にバランスある装飾美を演出することが求められます。

Jewellery 貴金属装身具

宝石の美しさを精緻な技巧が彩る

貴金属装身具は、一般的にジュエリーと称され、デザインを基に金、プラチナ、銀などの貴金属材料を加工し、貴石・真珠等を用いてブローチ、ペンダント、イヤリング、ピアス、指輪等の装身具を製作したものをいいます。経験により培われた技能と、製作者各々の感性により表現されたジュエリーは、長い歴史の中で時代と民族を問わず、多くの人々が創意工夫を凝らして受け継がれています。

競技概要

18金、プラチナを使用してペンダントを作成します。
支給された材料を使用し、課題図を正確かつ慎重に読み取り、左右バランスの取れた美しいペンダントを製作します。製作工程は選手各々異なりますが、課題図に沿ったパーツを材料から切り出し、曲げ、成形及びろう付等の作業を行い組み立てていきます。今回の課題は金(AU750)とプラチナ(Pt900)のコンビのため、完成イメージを基に素材の指定位置を注意する必要があります。



第32回競技課題



第33回競技課題

Point

- ① 装身具として美しく、バランス良く組み立てる
- ② 限られた支給材から、正確に材料取りをして課題図に示されたように立体的に表現し具現化する
- ③ 課題図の指定寸法は全て許容差内で仕上げる
- ④ 競技時間以内で全ての工程を終える

前回大会金メダリストからメッセージ!

福山 優香さん

辛いこともたくさんあると思いますが、お客様の笑顔や出来上がったものに対する気持ちが大事だと思うので、それを忘れないで頑張ってください!



Wooden Seal Engraving 印章木口彫刻

印章木口彫刻手彫り技法の極意を見てください

印章の歴史は人間社会の文化発生と同時に生まれ、五千年を経ています。そうして様々な形態の変化があり、日本では明治6年10月1日の太政官布告以来、印鑑登録制度「個人の実印」のもと、持主の財産を守り権利を行使するために欠かせない道具【印章】です。10月1日は印章の日として印章の大切さを啓発しています。

競技概要

下記の印を作成すること。

「大阪関西万国博覧会」

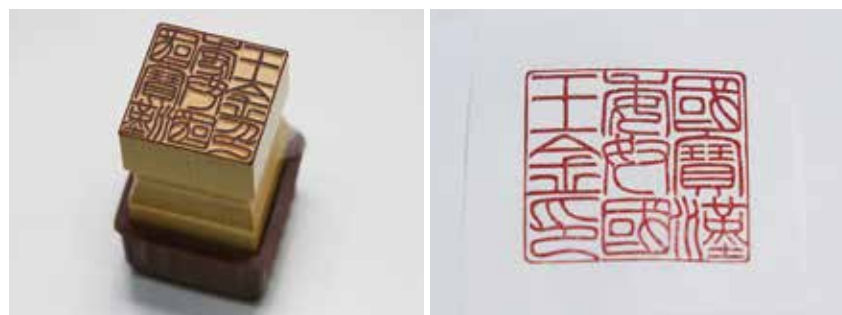
- ❶ 書体は篆書体(てんしょたい)。配分は自由とする。
- ❷ 関・万・国・会は旧字も可。
ただし、印章新体との混用は不可。
- ❸ 新常用漢字印章字林の篆書体を使用する。
- ❹ 材料については柘30mm角を支給する。

前回大会金メダリストからメッセージ!

[所属: 宝文堂印舗]

真田 智成さん

技術は正義だと思います! 皆さん頑張ってください!



第32回競技課題

Point

競技課題の文字数は9文字ですので、無理なくバランスも良く収められるので、篆書本来の美しさを表現できます。また、旧字体を使用すると変化に富み見せ場もあるので技術の見せどころとなります。



Mounting 表具

歴史に育まれつつ、現代感覚へと継承された日本の文化、 伝統工芸技能

仏教伝来と共に伝わった表具技能は、千数百年にわたり伝統工芸として現在に継承されています。関わる者は表具師・経師といわれ、掛軸・屏風・障壁画・襖・額・巻物・画帖等の仕立てや修復に携わっています。幾多の変遷を経て「表装職種」として確立、大成されてきました。

競技概要

表具技能は、掛軸・屏風・額装・襖等の基本的且つ高度な仕上げ作業が集約されており、それらを布や紙等を使い総合的に技能を発揮し一つの作品として完成させるものです。



第32回競技課題

Point

「表具技能」の掛軸・屏風・額・襖等の仕上げる際の重点的ポイントを各作業から取り入れ、支給された材料を使い、製作図に従って美的感覚を駆使し、規定時間以内に仕上げる競技です。

前回大会金メダリストからメッセージ!

[所属: (株) 神山表具]



阿部 崇さん

皆さんに少しでも興味を持ってもらい、業界に入ってきていただけたらと思います!

Plants Decoration 園芸装飾

環境に優しく有効な植物をいかに魅力的に見せるか

歴史的に約100年前から家庭、公共施設、オフィス、工場商業施設などあらゆる観葉植物を必要とするところに植物をレンタルしてきた職種として、今後も地球環境の維持に貢献していきます。

競技概要

競技課題に示されたテーマ(課題名)にふさわしい園芸装飾(インドアガーデン)を製作します。

前回大会金メダリストからメッセージ!

[所属:(有)中村造園]



第32回金賞作品

巴 芳江さん

こういった技術や手仕事は機械ではできないことなので、私たち「人」が繋いでいけたらと思います!



Point

採点ポイントは、まずデザインと技術に大きく分けます。デザインは、創造性・配置・配色の3点があります。技術は、植木の配置方法や工作物の製作を限られた時間の中で、より手際よく行えるかが重要です。

Visual Merchandising (Painting) ペイント仕上げ広告美術

発想と筆使いで如何に魅力あるサインを作るか

街を活気づける、店の魅力的なサイン・看板や様々な広告物は屋外広告物と言われますが、それらの製作現場で重要な役割を果たすのが広告美術職種です。昔は一部「商業美術」とも言いました。通常、顧客の注文によりプロセスは以下ようになります。1. 広告板製作の目的 2. 掲出場所と条例や景観の考慮 3. 設計とデザイン制作 4. 見積書とプレゼンテーション提出、顧客の了解 5. 行政手続き、許可 6. 広告板の製作
この製作工程には、鉄骨製作、塗装、板金、電気、フィルム加工他の職種要素が含まれ、この中で最も重要な、デザインや広告板面の表示加工を担うのが「広告美術」の技能士です。基本的には、紙と筆記具からスタートし、筆や刷毛を使って描くのですが、近年デジタル化が進みインクジェットプリントやフィルム仕上げの現状となりました。しかし逆に人間の感性を表す、筆や手工技能による表現が人を惹きつけ、その能力が益々大きな武器となりつつあります。

競技概要

競技課題に示された「テーマ」「内容」「仕様」等に従い、広告板を製作します。



第32回競技課題

Point

美しく描く高度なペイント技法と共に、広告としての訴求力を生み出すデザインセンス、発想力などにご注目ください。

前回大会金メダリストからメッセージ!

【所属: アートスタジオ ヤマ】



松井 勝彦さん

若い人にも「手書きで看板を描く」という力をつけてほしいと思います!

Visual Merchandising (Sheeting) 粘着シート仕上げ広告美術

粘着シートで光のサインを作る

街を活気づける、店の魅力的なサイン・看板や様々な広告物は屋外広告物と言われますが、それらの製作現場で重要な役割を果たすのが広告美術職種です。粘着シートは、表が色面で裏面に糊の付いたシール状の素材で、文字や図柄を切り抜き貼ることで、それまで主流だった手書きによるレタリングや、プラスチック製切り文字に代わる素材として、加工技術と共に普及しました。現在では透明色など色数も充実、用途も多様化し、デザイン性の高い演出効果が得られます。本職種では、シートを手切り加工しますが、実際の仕事ではあらかじめカッティング・プロットで切り抜いたシートを貼る作業が主流になっています。

競技概要

競技課題に示された「テーマ」「内容」「仕様」等に従い、内照式広告板を製作します。

前回大会金メダリストからメッセージ!

[所属:(有)キヨシ看板店]

鈴木 淑仁さん

チャレンジすることは素晴らしいことだと思うので、無理と諦めるのではなく、やってみてください!



第32回競技課題

Point

粘着シートによる光の演出効果と、広告としての訴求力を生み出すデザイン、発想力などにご注目ください。

Japanese Cooking 日本料理

技術を研鑽してきた料理人の手際の良さと華麗に仕上がる料理

日本料理は、各季節の表現と、走り・匂・名残の食材を大切にしています。この事を学ぶためには様々な知識と技術を持たなければなりません。また、長い間料理人が大切にしてきた約束や仕来りが数多く存在します。これをしっかりと受け継ぎ、技術を磨きながら、後進に残さなければなりません。

競技概要

日本料理において最も重要なお椀、刺身、酢の物を課題にしています。お椀は味が決め手となり、刺身では庖丁のキレがポイントです。また、酢の物は献立の締めに出す大切な料理です。さらに、競技では盛り付けのセンスも問われます。最後の第四課題は、残った食材を使用した応用料理で、料理人のアイデアと繊細さが求められます。



第一課題：平目の薄作り



第二課題：煮物椀（梅椀）
出汁・巻玉子・亀甲里芋・
裏白椎茸・花海老・梅花人参



第三課題：酢肴（木の芽酢）



第四課題：応用料理
（第一～三課題の残った材料を使用）
（参考例）先付二品・煮物・蒸し物・揚げ物

第32回競技課題

前回大会金メダリストからメッセージ！

〔所属：摂津観光(株) 山水館〕

佐藤 学さん

日々精進することは大切だと思います！



Point

第一課題では、手際良く魚を捌いて下処理し、一枚一枚丁寧な薄作りに仕上げます。第二課題では、食材に火を通し過ぎずに含め、濃い目の出汁を引き、味を調え、梅の花のようにバランス良く盛付けて仕上げます。第三課題では、ハウレン草と木の芽をよくすり混ぜて、色の良い青寄せを仕上げます。第四課題では、想像力を働かせ、見た目美しく、美味しさが伝わる料理に仕上げます。

Floristry フラワー装飾

花や植物の美しさを技術・創造性・感性で魅せる

フラワー装飾作業は、花・植物を素材とした創作活動であり、知識や技能・技術・デザイナーとしての創造性・感性が求められます。花や植物を通じて安らぎや潤いをもたらすことができるのは大きな喜びであり、生涯の仕事としての誇りを持っています。

競技概要

支給された花材・素材をもとにブライダルブーケ、花束(スパイラルテクニック)及びテーブルディスプレイ競技をそれぞれ1点ずつ時間内に制作します。

前回大会金メダリストからメッセージ!

[所属:(株)エス・ケイ花企画]

金澤 忍さん

フローリストは技術職!!一緒に業界を盛り上げましょう!



第32回競技課題

Point

支給された花材・資材をどのように使用するかは競技者自身が決めます。技術はもちろんのこと、技術者自身の創造性や感性が試されます。

Restaurant Service レストランサービス

基本をおさえたテクニックで、食卓の演出家に挑む！

レストランサービスの起源は、中世ヨーロッパに始まりました。宮廷文化を経て成熟し、フランス革命後のレストランから発展してきました。現代の実生活では、ホテルのメインダイニングから高級レストランまで、高品質なサービスを提供する場で、優秀なサービスパーソンが活躍しています。

競技概要

モジュールA: 専門知識問題 筆記試験

モジュールB: 飲料ブラインドテイस्टینگ

モジュールC: カクテルの作成

モジュールD: ファインダイニングにおけるディナータイムサービス

前回大会金メダリストからメッセージ！

[所属: (株)帝国ホテル]



第32回競技の様子

清水 竣馬さん

皆さんが長年培ってきた"魅せる技術"を大会当日に全て出し切りましょう！



Point

おいしい「料理」を提供するには、料理に関する知識や技術、一般常識が必要となります。

技能グランプリでは、レストランスペースを設け、お客様を招き、メインディッシュの切り分けやデザートのフランベなどを実際のレストランさながらの状況で行います。サービス時のお客様との会話や洗練された動作の一つひとつも見どころです。



Wall and Floor Tiling タイル張り



美観と耐久性に優れたタイルは私たちの生活環境に不可欠

タイルの特徴は耐久性に優れていること、耐熱性、耐火性、防水性に優れ、かつメンテナンスが容易であること、様々な色彩、形、風合い、質感などを表現できる豊かな意匠性を持つことです。最近では、抗菌、調湿、透水などの新機能や環境保全に貢献する新発想の製品も次々に誕生し、私たちの生活に役立っています。建築資材として優れた製品であるタイルを生かすには、精巧で正しい施工をしなければなりません。それには優れた技能と知識が必要となります。タイル張り技能工は、タイルという工場製品を建物の内外装の壁、床などに施工し完成品にするという重要な役割を担っています。

競技概要

ブロック、れんが、タイルを総合的に使用し、定められた競技時間、注意事項、仕様に従って課題図面に示す作品を製作し、作品の下地製作段階から、タイルの正確な張付、加工、仕上げまでその精度と良好な仕上がりが様々な角度から総合的に評価されます。



第32回競技課題

前回大会金メダリストからメッセージ!

〔所属: (有)原田左官工業所〕

根来 郁三さん

楽しくやれるように、これからも頑張ります!



Point

課題作品の製作には、「積み上げ張り(だんご張り)」、他にモザイクタイル張り、床タイル張り、タイルの切り物加工、ブロック・レンガ積み等の工法が盛り込まれており、特に、タイル張りの伝統工法である積み上げ張りやアールを表現する竹割りの張付には高度な技能を用います。他にも、タイル張りに必要とされる多様な技能・技術の要素が取り入れられています。

Landscape Gardening 造園

街づくりに関わる造園技術、身近な自然を創造する

人間の生活の中で、庭は身近に触れることのできる自然です。造園は、庭づくりはもとより公園緑地や街並みを計画し、快適な住環境をつくることも重要な仕事です。造園作業は、設計、庭の下準備、石組や植栽、細部の仕上げなど見る人が心とむ、より自然に近い景観になるように工夫を凝らします。そのため、樹木や石に関する深い知識及び空間構成力やデザインセンス、それらを表現するための施工技術まで、さまざまな要素が必要とされます。

競技概要

競技課題に示された「区画サイズ」「テーマ」等に従い、庭園をつくります。同じ支給材料を使い、幅3.5m×奥行2.5mの区画内に自由な発想で庭をつくり、技とデザイン力を競います。

前回大会金メダリストからメッセージ!

【所属:(有)坂本造園】

坂本 友司さん

一緒に造園業界を
引っ張っていけるよ
う頑張りましょう!



第32回競技課題

Point

技の数だけ庭がある。同じ支給材料を使っても、出来上がる庭はひとつとして同じものではありません。作品ごとに異なる材料の活かし方や、多彩な造園技法は競技のポイントであり見どころのひとつです。また創造性、デザイン性ととともに、テーマやコンセプトが的確に庭に表現されているかも競技のポイントになっています。





技能グランプリの競技職種と 関連する技能検定

No	競技職種名	技能検定職種名(作業名)
1	染色補正	染色(染色補正作業)
2	婦人服製作	婦人子供服製造(婦人子供注文服製作作業)
3	紳士服製作	紳士服製造(紳士注文服製作作業) [*]
4	和裁	和裁(和服製作作業)
5	寝具	寝具製作(寝具製作作業)
6	石工	石材施工(石材加工作業)
7	建築大工	建築大工(大工工事作業)
8	かわらぶき	かわらぶき(かわらぶき作業)
9	畳製作	畳製作(畳製作作業)
10	建築配管	配管(建築配管作業)
11	プラスチック系床仕上げ	内装仕上げ施工(プラスチック系床仕上げ工事作業)
12	カーペット系床仕上げ	内装仕上げ施工(カーペット系床仕上げ工事作業)
13	壁装	表装(壁装作業)
14	旋盤	機械加工(普通旋盤作業)
15	フライス盤	機械加工(フライス盤作業)
16	機械組立て	仕上げ(機械組立仕上げ作業)
17	家具	家具製作(家具手加工作業)
18	建具	建具製作(木製建具手加工作業)
19	ガラス施工	ガラス施工(ガラス工事作業)
20	貴金属装身具	貴金属装身具製作(貴金属装身具製作作業)
21	印章木口彫刻	印章彫刻(木口彫刻作業)
22	表具	表装(表具作業)
23	園芸装飾	園芸装飾(室内園芸装飾作業)
24	ペイント仕上げ広告美術	広告美術仕上げ(広告面ペイント仕上げ作業)
25	粘着シート仕上げ広告美術	広告美術仕上げ(広告面粘着シート仕上げ作業)
26	日本料理	調理(日本料理調理作業)
27	フラワー装飾	フラワー装飾(フラワー装飾作業)
28	レストランサービス	レストランサービス(レストランサービス作業)
29	タイル張り	タイル張り(タイル張り作業)
30	造園	造園(造園工事作業)

※ 技能検定の作業は廃止済み。



技能検定制度

概 要

技能検定は、「働く人々の有する技能を一定の基準により検定し、国として証明する国家検定制度」です。技能に対する社会一般の評価を高め、働く人々の技能と地位の向上を図ることを目的とし、職業能力開発促進法に基づき実施されています。昭和34年に実施されて以来、確かな技能の証として、合格者は各職場において高く評価されています。

実施体制・実施時期

技能検定は、職種によって次の2種類の団体により実施されています。

●都道府県職業能力開発協会により実施される職種(111職種)

職種ごとに前期・後期に分かれて実施されます。

都道府県によっては試験が実施されない職種もあります。

●民間の試験機関(指定試験機関)により実施される職種(22職種)

実施時期などの詳細は試験機関ごとに定められています。

等級区分

技能検定には、現在、特級、1級、2級、3級に区分するもの、単一等級として等級を区分しないものがあります。それぞれの試験の程度は次のとおりです。

- 特 級：管理者または監督者が通常有すべき技能の程度
- 1級及び単一等級：上級技能者が通常有すべき技能の程度
- 2 級：中級技能者が通常有すべき技能の程度
- 3 級：初級技能者が通常有すべき技能の程度

合格者

技能検定の合格者には、厚生労働大臣名(特級、1級、単一等級)または都道府県知事名(2級、3級)の合格証書が交付され、技能士と称することができます。また、技能検定合格者には、他の国家試験の受験や資格取得に際して特典が認められる場合があります。

都道府県職業能力開発協会及び
指定試験機関の連絡先は
こちらからご確認ください!

都道府県



指定試験機関



Linking Skills for a Sustainable Future

「技能」がつなぐ、持続可能な未来



worldskills
Aichi2028



21年振り 4回目 —

2028年 技能五輪国際大会 日本・愛知で開催！

開催概要（予定）

会期 / 2028年11月15日（水）～20日（月）

競技会場 / Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）

開閉会式会場 / IGアリーナ（愛知国際アリーナ）